

## 第43回建設業経理事務士検定試験

### 4級試験問題

#### 注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2カ所あります。2カ所とも、氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。  
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 現金¥963,000と土地¥1,480,000を元入れしてA工務店を開業した。
- (2) 本社事務所の当月分家賃¥58,000を小切手で支払った。
- (3) 事業用資金が不足しているため、銀行から現金¥700,000を借り入れた。
- (4) 現場事務所の水道光熱費¥25,000が当座預金から引き落とされた。
- (5) 本社事務所で使用する文房具を購入し、その代金¥36,000を現金で支払った。
- (6) 借入金¥700,000に対する利息¥7,000を現金で支払った。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 土地	E 備品
F 貸付金	G 借入金	H 資本金	J 受取利息	K 通信費
L 経費	M 支払家賃	N 水道光熱費	Q 事務用消耗品費	R 支払利息

〔第2問〕 次の文章の  に入れるべき最も適当な用語を下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～ト）を解答欄に記入しなさい。（8点）

- (1) 借入金は  勘定に属し、建物は  勘定に属する。
- (2) 残高試算表において、普通預金の残高は  に記入され、完成工事高の残高は  に記入される。
- (3)  と  は補助簿に含まれる。
- (4) 工事が完成し発注者へ引き渡しを行うと、その工事に要した材料費、、外注費、経費は、 に振り替えられる。

〈用語群〉

ア 借方	イ 貸方	ウ 資産	エ 負債	オ 資本（純資産）
カ 費用	キ 収益	ク 仕訳帳	コ 現金出納帳	サ 総勘定元帳
シ 貸借対照表	ス 損益計算書	セ 当座預金出納帳	ソ 給料	タ 労務費
チ 通信費	ト 完成工事原価			

〔第3問〕 次の表の（ア）～（シ）に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。（12点）

（単位：円）

年 度	期 首			期 末			収 益	費 用	当期純利益または 当期純損失（△）
	資 産	負 債	資 本 （純資産）	資 産	負 債	資 本 （純資産）			
a	（ア）	61,000	19,000	73,000	（イ）	（ウ）	77,000	72,000	（エ）
b	71,000	（オ）	33,000	（カ）	35,000	58,000	68,000	（キ）	（ク）
c	51,000	（ケ）	20,000	75,000	（コ）	（サ）	（シ）	58,000	12,000

〔第4問〕 乙工務店の次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（20×6年1月31日）を完成しなさい。（30点）

<資料1> 20×6年1月1日（期首）の勘定残高は次のとおりである。

現金 ¥420,000 当座預金 ¥650,000 備品 ¥200,000 借入金 ¥540,000 資本金 ¥730,000

<資料2> 20×6年1月中の取引は次のとおりである。

6日 本社事務員の交通費¥3,000を現金で支給した。

9日 材料を購入して工事現場へ搬入し、その代金¥170,000を現金で支払った。

11日 手許現金を補充するため、小切手¥200,000を振り出した。

14日 本社用の事務机を購入し、その代金¥60,000を小切手で支払った。

19日 外注費¥15,000を現金で支払った。

25日 現場作業員に対し、当月分の賃金¥200,000を現金で支払った。

〃 本社事務員に対し、当月分の給料¥230,000を現金で支払った。

27日 工事が完成したため発注者へ引き渡し、その工事代金¥620,000を小切手で受け取った。

29日 現場事務所の当月分家賃¥70,000が当座預金から引き落とされた。

30日 借入金に対する当月分の利息¥2,000を現金で支払った。

〔第5問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。（26点）

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。